

## 令和4年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立都南小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・植物の栽培では、1年生はアサガオ、2年生はミニトマトを育てた。これまでの植物を育てた経験から栽培するものを決め、学級園でナス、キュウリ、枝豆等を育てた。個人や学年全体で植物を育てたことで、植物の成長に関心を持ち、親しみをもって大切に育てることができた。
- ・国語の説明文の単元と植物の観察を関連付けて学習を行うことで、親しみをもちながら学習を進めることができたとともに、気付きを表現する方法を学習することができた。
- ・1年生においては、近隣の公園を散策した際に拾ったドングリなどの木の実を利用し、遊びや遊びに使う物、かざりを工夫してつくることができた。
- ・2年生のおもちゃ作りでは、物の特徴を生かしておもちゃ作りができるよう様々な種類の身近な物を用意したことで、形などを生かしたり、それぞれの物を組み合わせたりしながらおもちゃを作ることができた。また、様々な場を用意したことで、見えない力の不思議さに気付き、それを生かした遊びを工夫することができた。

#### (2) 課題

- ・生き物の飼育について、生き物を継続して飼育する活動をさらに充実させる必要がある。
- ・季節との関わりについて、近隣の土手や公園など、地域の特色をさらに生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動を充実させていく必要がある。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・活動を通して児童の様々な気付きにつながるよう、関わる物や人、場について、児童の思いや願いに沿ったものを設定する。また、それらと主体的に関わりがもてるよう、児童の気付きを全体に広めるような助言をする。	・児童が活動を通して気付いたことや感じたことを表現することができるよう、言葉に加えて、絵でも描けるようなワークシートを工夫する。	・児童がさらに主体的に活動できるように児童の思いや願いを生かした活動を設定する。 ・次回の活動の見通しや意欲をもつことができるよう、毎時間の活動や気付きを価値付ける。 ・活動が終わったら、必ず振り返りを行い、自分が頑張ったこと、何を次につなげたいかなどをワークシートに書く時間を設定する。